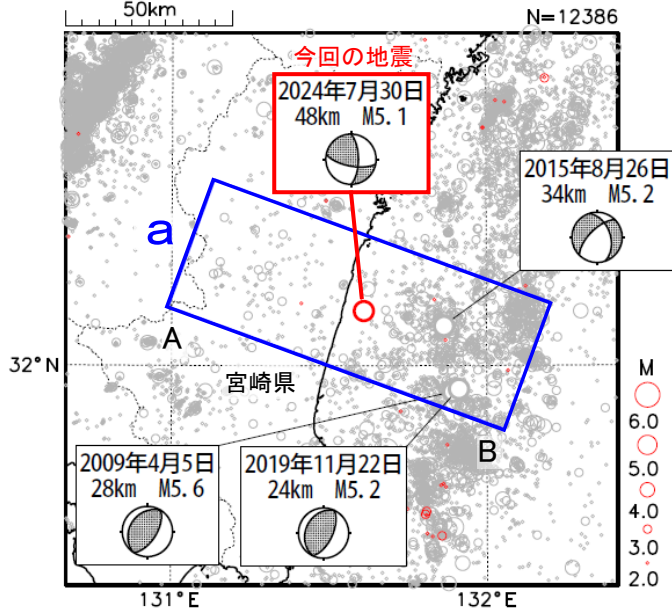
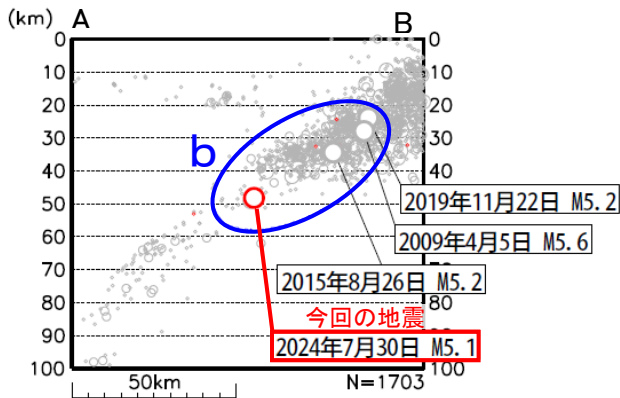


7月30日 日向灘の地震

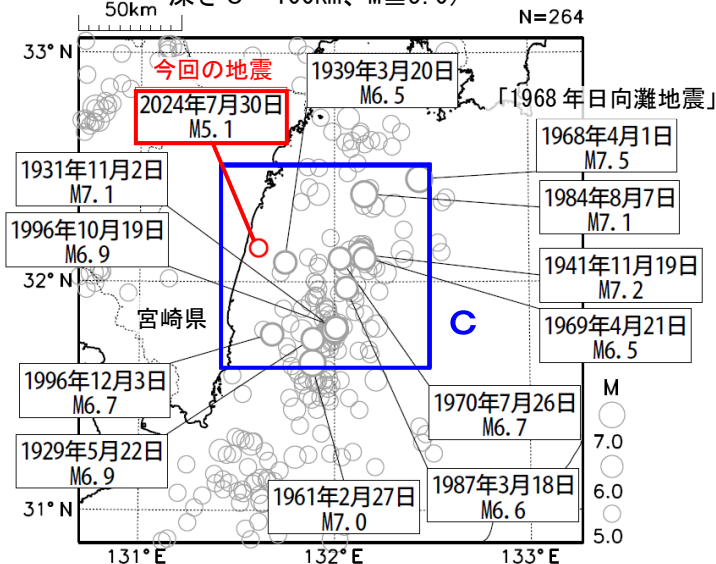
震央分布図
(1994年10月1日～2024年7月31日
深さ0～100km、 $M \geq 2.0$)
2024年7月の地震を赤色○で表示
図中の発震機構はCMT解



領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図
(1919年1月1日～2024年7月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)

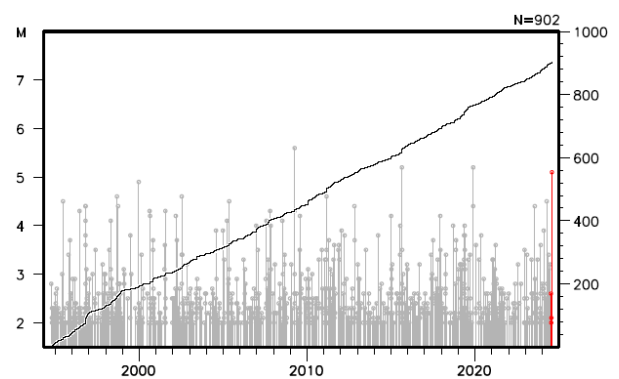


2024年7月30日01時25分に日向灘の深さ48kmでM5.1の地震(最大震度4)が発生した。この地震は、フィリピン海プレート内部で発生した。発震機構(CMT解)は北西-南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型である。

1994年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M5.0以上の地震が今回の地震を含めて4回発生している。2009年4月5日にはM5.6の地震(最大震度4)が発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)ではM6.0以上の地震が時々発生している。1996年10月19日に発生したM6.9の地震(最大震度5弱)では、高知県の室戸市室戸岬、土佐清水で14cm、宮崎県の日南市油津と鹿児島県の種子島田之脇で9cmの津波を、同年12月3日に発生したM6.7の地震(最大震度5弱)では、宮崎県の日南市油津、高知県の土佐清水で12cmの津波を観測した(平常潮位からの最大の高さ)。また、1968年4月1日に発生した「1968年日向灘地震」(M7.5、最大震度5)では、負傷者57人、住家被害7,423棟などの被害が生じた(被害は「日本被害地震総覧」による)。この地震により、大分県の蒲江で240cm(全振幅)の津波を観測した(「日本被害津波総覧」による)。

領域b内のM-T図及び回数積算図



領域c内のM-T図

